

活動名称 (40字以内)	地方教育活性化計画		
団体名等	東京大学三四郎会		
活動区分	<input type="checkbox"/> ボランティアなどの社会貢献活動	選考方法	<input type="checkbox"/> 先着順
	<input type="checkbox"/> 国際交流体験活動		<input checked="" type="checkbox"/> 書類審査
	<input checked="" type="checkbox"/> 就労体験活動	募集人数	<input checked="" type="checkbox"/> 面接
	<input type="checkbox"/> 農林水産業・地域体験活動		5 人
	<input type="checkbox"/> フィールドワーク体験活動		
<input type="checkbox"/> 研究室体験活動			
参加資格等	1. 学部学生(前期課程の学生が望ましい) 2. 基本的なマナーを身に付けており、様々な立場の人とコミュニケーションが取れること 3. TwitterやFacebookなどのSNS、Microsoft Word, Excelなどのアプリケーションが最低限使えること		
活動期間	8月 ~ 9月 1週間程度 日/週/ヶ月間	主な活動場所	文理開成高校 (千葉県鴨川市)
目的	地方の高校で現場に飛び込み業務を体験することで、教育格差の実態を理解する。また、その地方独特の教育のあり方に触れることで、自らの教育観を相対化する。		
具体的な内容 (800字程度)	①事前研修プログラム ・オリエンテーション(参加学生の顔合わせ、問題意識や目標の設定・共有)を行う。 ・他の東京大学三四郎会企画と合同でマナー/スキル研修を行う。 ・事前に鴨川市や文理開成高校の特徴や現状を参加者全員で共有し、地域活性化や地方教育に関わる知識をインプットする。 ②活動内容 ■活動先 活動場所は、過疎化が進む千葉県南総に位置する文理開成高校を中心に活動を行う。文理開成高校の理事長である鈴木淳氏は東京大学のOBであり、本企画に非常に協力的である。 ・現地では、中高生を対象にした夏期講習での指導や学校説明会の補助など学校内での業務を体験する。それに加えて、先生方へのインタビューや夏期講習に参加する生徒との触れ合いの中で文理開成高校でどのように教育が行われているかを把握する。また、鴨川市の教育行政全体に目を向けた活動(地域住民へのインタビュー、鴨川市長・教育長との面会、近隣公立学校の訪問など)も実施に向け調整を行っている。 ★活動中の情報共有・メンタリング★ 参加学生と企画統括・卒業生メンターの間で、意見や情報の交換を行う。具体的な方法としては以下を想定している。 ・関係者によるFacebookグループ上での日報の投稿 ・統括によるメンタリング(週1回程度のSkype、企画統括が随行する場合は現地で面談) ③事後プログラム 活動終了後に、他の東京大学三四郎会企画参加者も含めたプレゼン報告会を行う。		
備考	東京大学三四郎会は、「知の創造的摩擦プロジェクト」の共催や「ホームカミングデイ」への協力など、東京大学の活動にボランティアにかかわっている東京大学の若手卒業生によるネットワークである。構成員は約700人で、30代が中心となっている。三四郎会では2013年度より、企画実行のため組織された現役東大生による学生団体UTミライウォーカーとの協力のもと、インターン企画をミライウォーカープロジェクトとして実施している。(本企画は、このネットワークを通じ、主に東大卒業生が受け入れを担当する。)		
参加するための費用※	内訳(1名当たり)	その他※特記事項は以下に記載	
	交通費 実費 円 宿泊費 0 円 () 円 () 円 計 円	東京駅から高校最寄りの安房鴨川駅までのバスがある。 参加申請後、Skypeあるいは電話で順次面接を行う。 奨励金額 3,900 円	
ウェブサイト等	【文理開成高校公式サイト】 http://www.bunri-kaisei.com 【文理開成高校Facebookページ】 https://www.facebook.com/bunrikaisei 【三四郎会Facebookページ】 http://www.facebook.com/todaisanshiro		